

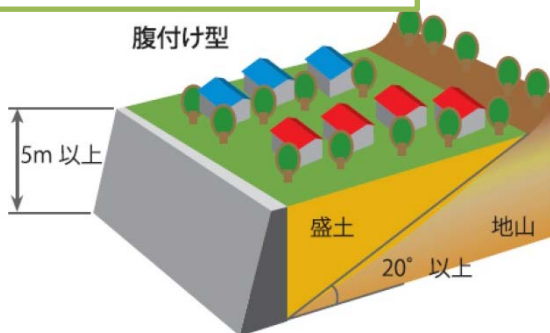
# 大規模盛土造成地について

兵庫県南部地震や新潟県中越地震などにおいて、谷や沢を埋めた造成宅地または傾斜地盤上に腹付けした造成宅地において、盛土内部の脆弱面をすべり面とする盛土の大部分の変動や、盛土と地山との境界面等における盛土全体の地すべり的な変動などの災害が生じました。今後発生が予想される南海トラフ地震等においても同様の被害が想定されます。

本市では、市民の皆様身近に存在する大規模盛土造成地の概ねの位置をお知らせし、災害について意識の向上や未然防止を図ることを目的とし、国のガイドラインに基づき作成された「大規模盛土造成地マップ」を公表しています。また、最も調査優先度が高い大規模盛土造成地において、地震時の活動崩落に対する安全を確認しています。

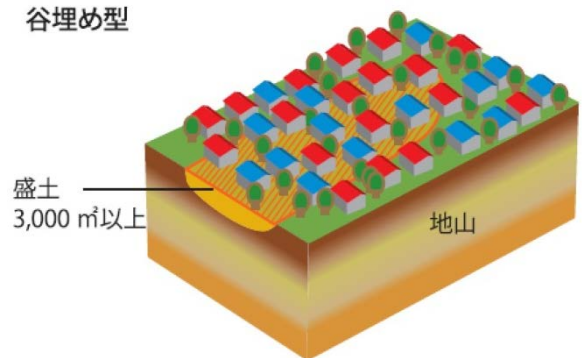
この機会に大規模盛土造成地が皆様の身近にあることを知っていただき、日頃から宅地や擁壁の状況に関心をもっていただきますようお願いいたします。

## 大規模盛土造成地とは



傾斜地に盛土した造成宅地で盛土をする前の地盤の傾斜が20度以上、かつ盛土の高さが5メートル以上のもの

谷埋め型



谷を埋めた造成地で盛土の面積が3,000平方メートル以上のもの

## 大規模盛土造成地マップの活用

大規模盛土造成地の概ねの位置と規模を示すマップを、以下のサイトで公表しています。マップは、大規模盛土造成地が身近に存在するものであることを市民の皆様知っていただくためのものです。大規模盛土造成地の概ねの位置と規模を示すものであり、マップに示した場所が地震時に必ずしも危険というわけではなく、個々の敷地まで特定するものではありません。

この機会に、日頃や地震のあと、台風のあとなどに、ご自宅の宅地や周辺の状況に関心をもっていただき、周辺の擁壁や斜面の状況を確認したりして安全を確かめるようにしてください。

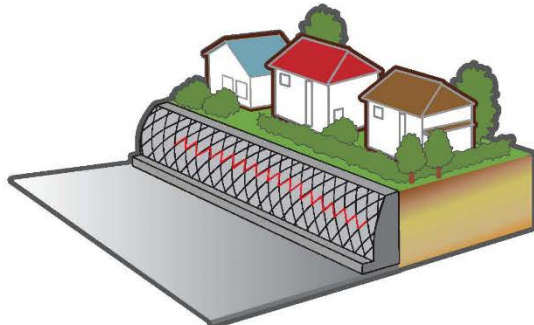
- ◆東海市大規模盛土造成地マップ  
([http://www.city.tokai.aichi.jp/secure/43130/tokaishi\\_daikibomorido\\_map.pdf](http://www.city.tokai.aichi.jp/secure/43130/tokaishi_daikibomorido_map.pdf))
- ◆国土交通省「重ねるハザードマップ」(<http://disaportal.gsi.go.jp/>)  
“地形の特徴・成り立ち”から“大規模盛土造成地”を選択

## わが家の宅地チェックポイント

(国土交通省 「わが家の宅地安全マニュアル」より引用)

宅地における災害を防ぐためには、市民の皆さんが日ごろからご自分の宅地や周辺の擁壁に目を配ることが大切です。以下のポイントを参考に点検することによって、宅地被害の前兆となりうる異常を早く発見することができます。

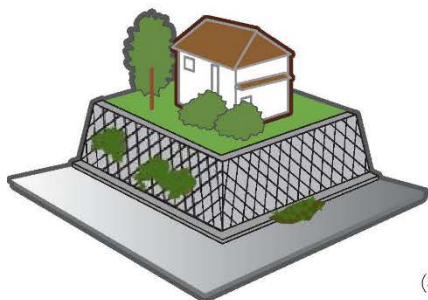
○擁壁の長い区間で変状（ハラミ出しや水平亀裂）が見られる。



長い亀裂

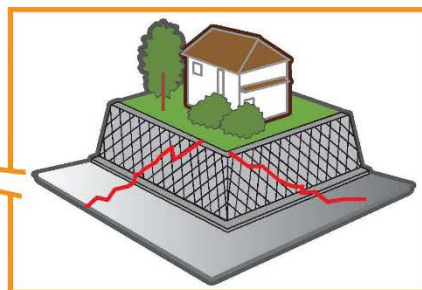
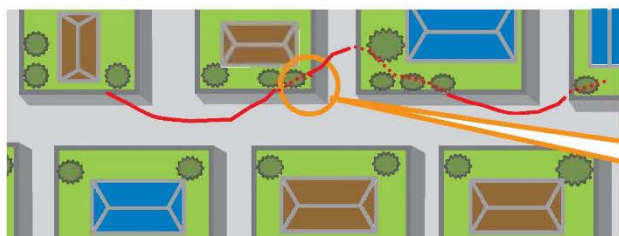
(提供：社団法人 全国宅地擁壁技術協会)

○擁壁がいつも水のしみ出しにより濡れている、コケが生えている。



水がしみだしている擁壁 湧水部分にコケが生えている擁壁  
(提供：社団法人 全国宅地擁壁技術協会)

○宅地地盤（道路や側溝を含む）・擁壁の変状が連続している。



○盛土の範囲が特定されている場合、盛土の上端と盛土の下端の部分の擁壁などに変状が見られる、湧き水がある。



擁壁下端のハラミ出し

(提供：社団法人 全国宅地擁壁技術協会)

